

## イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	矢田部 翔子	コマ数	15コマ
使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

## 授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
1H/15H	①オリエンテーション  ②自己紹介、目標設定	【講師紹介】  ・3日間の流れについて説明を行う  ・全員の自己紹介を行う。  ・各自で目標を設定させて、自己紹介時に発表してもらう。

## 評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	3日間の流れを理解する。	アンケート	3日間の流れを理解できたか。
2	メンバーを把握する。	取り組み姿勢	
3			

備考

イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	篠月梟太郎	コマ数	15コマ
使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点透視図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
2H/15H	<p>①アイレベルと消失点とは何か？</p> <p>②一点透視、二点透視、三点透視とは何か？</p> <p>③各透視図法を意識した写真を撮りに行く</p> <p>④背景実習。各透視図法を用いて、アナログでティッシュ箱を描いてみる。</p>	<p>①消失点とアイレベルについての説明。 ■消失点とは…視点者から離れていく物体が、1点に集まって消えていくように見えるポイント。点は3つまで設けることができる。 ■アイレベルとは…視点の高さ。すなわち、カメラマンの目線の高さのことを言う。</p> <p>②各透視図法についての説明。 ■一点透視図法…奥行きのみ1点にのみパースがつく。 ■二点透視図法…幅と奥行きに2点にパースがつく ■三点透視図法…高さを幅と奥行きに3点にパースがつく。</p> <p>③①と②をふまえて、実際に学校内の写真を撮りに行く。生徒に透視法の見え方を体感してもらい、知識だけではなく全身で覚えて貰う狙い。</p> <p>④まずは簡単な図形を描き、透視法の理解を深める。各自にティッシュ箱を配り、一～三点透視の解説をしながら実際に描いてもらう。</p>

評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	アイレベル、消失点を基礎に置き、一点、二点、三点透視を理解する。	生徒が撮影した写真確認	透視図法を理解し、その知識を活かした写真を撮ることができているか。
2	透視図法を使って簡単な図形を描く	成果物確認	透視図法を使って、ティッシュ箱を描くことができているか。
3			

備考			
----	--	--	--

イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	渡邊 理英子	コマ数	15コマ

使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
3H/15H	①パース定規を使った一点透視図法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透視図法についておさらい</li> <li>・ラスタレイヤーで下描き</li> <li>・ベクターレイヤーを作成</li> <li>・パース定規を作成</li> <li>・一点透視で立方体の描画</li> <li>・パース定規操作や配置について</li> <li>・ベクター消しゴムの活用</li> </ul>

評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	パース定規で一点透視図法を描く	提出物	パース定規を作成できたか
2			下描きとペン入れでレイヤー分けできたか
3		取組姿勢	分からないところは質問できたか

備考			
----	--	--	--

イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	渡邊 理英子	コマ数	15コマ

使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
4H/15H	①パース定規を使った二点透視図法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透視図法についておさらい</li> <li>・ラスタレイヤーで下描き</li> <li>・ベクターレイヤーを作成</li> <li>・パース定規を作成</li> <li>・二点透視で立方体の描画</li> <li>・パース定規操作や配置について</li> <li>・ベクター消しゴムの活用</li> <li>・グリッドの表示、スナップ</li> </ul>

評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	パース定規で二点透視図法を描く	提出物	二点でパース定規を作成できたか
2			グリッドを活用できたか
3		取組姿勢	分からないところは質問できたか

備考			
----	--	--	--

イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	渡邊 理英子	コマ数	15コマ

使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
5H/15H	①パース定規を使った三点透視図法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透視図法についておさらい</li> <li>・ラスタレイヤーで下描き</li> <li>・ベクターレイヤーを作成</li> <li>・パース定規を作成</li> <li>・三点透視で立方体の描画</li> <li>・パース定規操作や配置について</li> <li>・ベクター消しゴムの活用</li> <li>・グリッドの表示、スナップ</li> </ul>

評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	パース定規で三点透視図法を描く	提出物	三点でパース定規を作成できたか
2			グリッドを活用できたか
3		取組姿勢	分からないところは質問できたか

備考			
----	--	--	--

イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	篠月梟太郎	コマ数	15コマ

使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点透視図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
6H/15H	①背景をメインとしたリレー漫画をグループで描く。	①くじ引きなどで4～5名のチームを作る。 ②1人1コマを担当しグループで1ページの漫画を制作する。 ③必ず背景を描くことを条件とし、締切までに1本の漫画を完成させてもらう。 ④今回、背景の指導しかしていないが、「漫画」を描く上で必要な基礎知識「原稿用紙作成方法」と「コマ割りの仕方」「ページデータの配布方法」を軽く説明した。

評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	テーマに沿った漫画をグループで制作、完成させる。	成果物確認	透視図法を理解し、描くことができているか。
2			
3			

備考			
----	--	--	--

## イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	篠月梟太郎	コマ数	15コマ
使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

## 授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
7H/15H	①背景をメインとしたリレー漫画をグループで描く。	①くじ引きなどで4～5名のチームを作る。1人1コマを担当し、グループで1ページの漫画を制作する。 ②必ず背景を描くことを条件とし、締切までに1本の漫画を完成させてもらう。

## 評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	テーマに沿った漫画をグループで制作、完成させる。	成果物確認	透視図法を理解し、描くことができているか。
2			
3			

備考

## イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	篠月梟太郎	コマ数	15コマ

使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

## 授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
8H/15H	①背景をメインとしたリレー漫画をグループで描く。	①くじ引きなどで4～5名のチームを作る。1人1コマを担当し、グループで1ページの漫画を制作する。 ②必ず背景を描くことを条件とし、締切までに1本の漫画を完成させてもらう。

## 評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	テーマに沿った漫画をグループで制作、完成させる。	成果物確認	透視図法を理解し、描くことができているか。
2			
3			

備考			
----	--	--	--

## イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	篠月梟太郎	コマ数	15コマ
使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

## 授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
9H/15H	①背景をメインとしたリレー漫画をグループで描く。	①くじ引きなどで4～5名のチームを作る。1人1コマを担当し、グループで1ページの漫画を制作する。 ②必ず背景を描くことを条件とし、締切までに1本の漫画を完成させてもらう。

## 評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	テーマに沿った漫画をグループで制作、完成させる。	成果物確認	透視図法を理解し、描くことができているか。
2			
3			

備考

イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	篠月梟太郎	コマ数	15コマ

使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
10H/15H	①背景をメインとしたリレー漫画をグループで描く。	①くじ引きなどで4～5名のチームを作る。1人1コマを担当し、グループで1ページの漫画を制作する。 ②必ず背景を描くことを条件とし、締切までに1本の漫画を完成させてもらう。

評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	テーマに沿った漫画をグループで制作、完成させる。	成果物確認	透視図法を理解し、描くことができているか。
2			
3			

備考			
----	--	--	--

イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	篠月梟太郎	コマ数	15コマ

使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
11H/15H	①背景をメインとしたリレー漫画をグループで描く。	①くじ引きなどで4～5名のチームを作る。1人1コマを担当し、グループで1ページの漫画を制作する。 ②必ず背景を描くことを条件とし、締切までに1本の漫画を完成させてもらう。

評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	テーマに沿った漫画をグループで制作、完成させる。	成果物確認	透視図法を理解し、描くことができているか。
2			
3			

備考			
----	--	--	--

## イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	篠月梟太郎	コマ数	15コマ

使用教材 オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、

授業の目的 デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ  
（一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）

授業の概要 「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。

授業の目標 アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。

## 授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
12H/15H	①背景をメインとしたリレー漫画をグループで描く。	①くじ引きなどで4～5名のチームを作る。1人1コマを担当し、グループで1ページの漫画を制作する。 ②必ず背景を描くことを条件とし、締切までに1本の漫画を完成させてもらう。

## 評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	テーマに沿った漫画をグループで制作、完成させる。	成果物確認	透視図法を理解し、描くことができているか。
2			
3			

備考

## イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	篠月梟太郎	コマ数	15コマ
使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

## 授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
13H/15H	①背景をメインとしたリレー漫画をグループで描く。	①くじ引きなどで4～5名のチームを作る。1人1コマを担当し、グループで1ページの漫画を制作する。 ②必ず背景を描くことを条件とし、締切までに1本の漫画を完成させてもらう。

## 評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	テーマに沿った漫画をグループで制作、完成させる。	成果物確認	透視図法を理解し、描くことができているか。
2			
3			

備考

イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	篠月梟太郎	コマ数	15コマ

使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
14H/15H	①背景をメインとしたリレー漫画をグループで描く。	①くじ引きなどで4～5名のチームを作る。1人1コマを担当し、グループで1ページの漫画を制作する。 ②必ず背景を描くことを条件とし、締切までに1本の漫画を完成させてもらう。

評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	テーマに沿った漫画をグループで制作、完成させる。	成果物確認	透視図法を理解し、描くことができているか。
2			
3			

備考			
----	--	--	--

イラスト・マンガ制作カリキュラム授業計画 II

授業科目	背景表現演習	授業形態	講義・実習
開講期間	平成28年12月14日～16日	対象者	イラスト・マンガコース1～3年
日数	3日	総時間数	15H
担当教員	矢田部 翔子	コマ数	15コマ
使用教材	オリジナル資料（※1）PC、プロジェクター、模造紙、		
授業の目的	デジタルソフトウェアを活用した背景表現技法を学ぶ （一点透視図法、二点透視図法、三点表現図法、影の描き方）		
授業の概要	「背景」を描くための基礎知識である、一点透視法、二点透視法、三点透視法を学ぶ。アイレベルや消失点を体験しながら習得し、実際に知識を活かして作画をする。		
授業の目標	アイレベルと消失点の理解、各透視図法の知識習得として、背景を自分で描けるようになること。		

授業計画

時間/総時間	テーマ	内容
15H/15H	①プレゼンテーション準備・最終調整  ②プレゼンテーション開始  ③総評、アンケート、後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにプレゼンテーションの準備・最終調整を行わせる。</li> <li>・時間配分、役割、発表内容の確認</li> <li>・グループごとにプレゼンテーションを開始、順番は教員側で決める。</li> <li>・各グループ準備も含め5分以内でのプレゼンとする。</li> <li>・終了1分前に教員側から合図を送り時間を知らせる。</li> <li>・1つのグループのプレゼンが終了したら講師から作品についての評価やアドバイスを述べる。</li> </ul>

評価

No	到達目標	評価方法	評価項目
1	グループで協力してプレゼン準備ができる	取組姿勢	協力してプレゼン準備を行えているか
2	5分間の決められた時間でプレゼンを行うことができる	取組姿勢	協力してプレゼンが行えたか
3			

備考